



上原 喜代子 議員

どうなっている、 不登校の状況

答 平成29年度は小中学生合計で83人

問 本町の不登校の推移はどうなっているか。

教育長 平成27年度、小中学生で24人、平成28年度、小中学生で45人、平成29年度で小学生36人、中学生41人、計83人となっている。

問 学年別に見てどの学年が不登校になりやすいか。

教育長 小中学校とも学年が進むにつれて不登校児童生徒数が増える傾向である。

問 不登校児童生徒への指導結果として効果的な措置はあったか。

教育長 心の教室相談員による家庭訪問面談や保護者と連絡を密に取り合い、登校支援を行うことで効果を上げている。

育英会資金貸与の状況を問う

問 今年度の育英会資金貸与の申請は何人か。

教育長 平成30年度の育英会への貸与申し込み者は3人である。

2人が貸与対象者、1人は本町の育英会の評定基準に満たず非該当である。

問 未償還者の最年長者（44歳）は本町の援助対象世帯の要保護、準要保護のどちらか。

教育部長 町外へ転出のため、詳しい状況が把握できていない。

問 この44歳の年齢、孫もいるのかもしれない。そして保証人は高齢化している。免除の措置もない中でこの事案に対し検討はされたのか。

教育長 後手に回っているのは事実である。検討する時期にきていると思うが育英会は別の組織である。役員会、評議員会、我々事務担当している部署が方針を出しルールを決めていくと考えている。

食の応援事業を問う

問 学童期生活習慣病予防健診の状況はどうか。

副町長 平成28年度の受診状

況は小5で154人で受診率33・2%、中2で87人で受診率19・6%、平成29年度は小5で206人で受診率40・5%、中2で115人で受診率24・6%となっている。

問 検査をして再検査を要する児童はいるか。

保健福祉課長 小5で中性脂肪等の異常所見、中2でコレステロールと血圧に異常所見が多い結果になっている。

問 再検査の連絡はしているか。

保健福祉課長 保健福祉課で呼びかけている。



▲学童期生活習慣病予防健診の様子